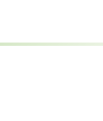
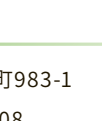
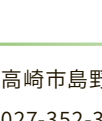




株式会社優輝 EVステーション

EV充電設備の普及促進 カーボンニュートラル実現へ 各企業の取組応援



📍 高崎市

住所 高崎市島野町983-1
TEL 027-352-3008
Mail ev@evstation.jp
URL https://www.evstation.jp/

代表者 小野 優子

設立 2005年12月16日

資本金 1,000万円

従業員 3人

WEBSITE



🏢 企業紹介

電気自動車 (EV) の充電インフラ普及を促進し、環境の保全と資源の有効活用を提案する企業です。CO2排出ゼロを目指し、各企業の取組を応援します。また、EVは経費の削減、騒音の軽減、排気ガスの排出ゼロへ向けて取り組む経営者の力になります。充電器の設置、EVの販売・買い取り・メンテナンス・レンタル・リース、緊急時の電源確保のV2Hシステムなど、持続可能な環境対策やCO2削減に向け、総合的なご提案が可能です。

➡ 経緯・背景

環境問題が叫ばれる昨今、EVへの期待が高まっています。排出ガスの削減に取り組むものの、事業活動とのバランスが難しい状況がある中で、営業車や通勤車をEVへ変更する、EVに充電した電気を緊急時に利用するといった、新しい取組が求められています。経費削減も可能なCO2削減運動の一つとして、化石燃料からの脱却を進めましょう。2050年政府の目標「カーボンニュートラル」の実現、脱炭素経営へ舵を切る企業様を応援します。

営業・通勤車両のEV化で CO2排出量や経費を削減 充放電システムの提案も

📋 具体的な取組・成果

- ① 営業車・通勤車両のEV化…… CO2・騒音・振動・経費の削減、アイドリングストップによる温室効果削減。
- ② 充放電システムの設置…… 電力ピークの電気使用量を抑え、緊急時の電源も確保。災害や停電時にはEV自体も非常用電源となり、電気を近隣住民に提供したり遠隔地へ運搬したりすることが可能。
- ③ 夜間電力の効果的な利用…… 夜間の余剰電力をEVに蓄電することにより、昼間の電力ピークを緩和。また安価な夜間電力の利用で、経費削減を実現。



充電風景

現在、SDGsを含め環境問題や省エネ対策など、企業としての社会的責任を果たすことが求められています。EVを導入しこれらのメリットを打ち出すことで、実益を伴いながら企業価値を高めることが可能になります。また、他社に先駆けて導入することで、差別化を図ることもできます。

CO2削減に関する重要な指標として「ライフサイクルアセスメント」があります。走行時だけでなく、車両の生産から廃棄までのライフサイクル全体のCO2排出量を評価する手法です。長いスパンで計算すれば、CEVやEVは化石燃料車より格段に優れ、営業車1台を製造から廃棄まで、今の半分のCO2排出量で使用できます。一部行政機関や金融機関・商業施設等でもEV導入が進んでいます。

実際に取り組んだ企業の例では、営業車5台を電気自動車に切り替えることで、年間12万円以上の経費削減を成功させ、会社全体のCO2排出量を20%近く減らすことに成功しました（燃料費1/7、車検費用削減4万円/1回あたり）。こうした環境への取組は早いほど注目度や宣伝効果が高く、導入企業のイメージアップに貢献します。未来に美しい地球を残すための活動で、環境や経費の負担を軽減する。自社にぴったりのプランを一緒に探しませんか。



EVレースは騒音や排気ガス問題で悩むサーキットにとっても、新たな挑戦となっています。

当社にとってのSDGsビジョン

排気ガスや騒音がないEVの普及により、各企業がエネルギーを上手に活用できる未来を目指します。充放電システムやEVの普及が促進された社会は、持続可能な新しい成長をもたらすと考えます。

今後の展望と求めるパートナー像

EVの導入、充放電システムの設置を検討する企業へ、CO2と経費の削減をご提案します。

- ① 通勤費や営業車の経費削減、CO2、騒音の軽減
- ② 充放電のV2Hシステムとソーラー導入による、停電や災害への備え、事務所の電力ピーク調整など